学校番号	3022

令和2年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ（理科）	単位数	2	年次	2
使用教科書	「精選現代文Ｂ改訂版」（筑摩書房）						
副教材等	「現代文単語げんたん」（いいずな書店） 「新総合図説国語新訂版」（東京書籍） 「論理的に読み・書く　現代文記述講座」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ

・様々な分野の評論文を読み、各テーマの基本的な考え方を理解しましょう。
・「近代」とは何かを学びましょう。
・小説の表現に注目しながら、作品を深く味わいましょう。
・前もって教材を読み、疑問点を持って授業に臨みましょう。

2　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を読み、著者や登場人物のものの見方、考え方を的確に理解することができる。
・近代以降の様々な文章を読み、論理的な思考力や豊かな想像力、批評力を高め、適切に表現することができる。
・進んで読書をすることで、言語感覚を磨き、表現力や創造力を高める態度を育んでいる。
・国語の向上を図る態度を育む。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （提出物、ワークシート等）	・行動の観察及び確認 （発表、討論等）	・記述の確認及び分析 （提出物、レポート等） ・定期考査	・記述の確認及び分析 （提出物、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 （提出物、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			関	話	書	読	知		
1学期	評論の内容を理解するⅠ	「日本文化私観」坂口安吾 「物語としての自己」野口裕二 「思考バイアス」池内了	○			◎	○	a. 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。 d. 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e. 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	「山月記」中島敦	○	◎			○	a. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b. 考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話している。 e. 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a. 行動の観察 b. 行動の観察及び確認 e. 小テスト及び定期考査
2学期	評論の内容を理解するⅡ	「ファンタジー・ワールドの誕生」今福龍太 「つながりと秩序」北田暁大 「ことばへの問い」熊野純彦	○			◎	○	a. 文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。 d. 文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e. 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	「こころ」夏目漱石	○		◎		○	a. 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 c. 手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明している。 e. 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a. 行動の観察 c. 記述の確認及び分析 e. 小テスト及び定期考査

3学期	評論の内容を理解するⅢ	「物語るという欲望」 内田樹 「『である』ことと『する』こと」 丸山眞男	○			◎	○	a. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。 d. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 e. 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について　a…関心・意欲・態度　b…話す・聞く能力　c…書く能力　d…読む能力　e…知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付している。

※ その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）関わる観点には◎を付している。